

第7回アメリカ研修旅行報告

－R I T・N T I D・G A L L A U D E T大学のキャンパス配置・教育の概要について－

聴覚部建築工学科 萩田秋雄

要旨：1998年3月22日から3月31日まで、アメリカのロチェスター工科大学（R I T）、国立ろう工科大学（N T I D）、ギャローデット大学（Gallaudet university）の視察研修旅行に参加した。

本稿では、この視察の概要、各大学のキャンパス配置、教育の概要について報告する。

キーワード：アメリカ研修旅行、ロチェスター工科大学（R I T）、国立ろう工科大学（N T I D）
ギャローデット大学、キャンパス配置、学部学科構成、学位

Keyword：Study tour to USA, ROCHESTER INSTITUTE OF TECHNOLOGY, NATIONAL TECHNICAL INSTITUTE FOR THE DEAF, GALLAUDET UNIVERSITY, Campas Planning, Colleges and Schools, Degrees

1. はじめに

1998年3月22日から3月31日までの10日間、アメリカのろう教育の高等教育機関の視察を実施した。視察対象先はロチェスター工科大学（R I T）、国立ろう工科大学（N T I D）、ギャローデット大学である。本学学生20名（デザイン学科1名、建築工学科8名、電子情報学科電子専攻2名、情報工学専攻9名）、教官4名、事務官1名の計25名の参加であった。各視察先の研修内容はきわめて多岐にわたる内容で、教官個人・学生それぞれの希望にきめ細かく対応して頂いた。その主な内容は以下の通りである。

[第7回アメリカ研修旅行主な視察研修内容]

1998年3月22日

R I T（ロチェスター工科大学）

N T I D（国立ろう工科大学）訪問

*ディナー：ワトソンダイニングホール（全員）

1998年3月23日

*挨拶及びN T I Dの概要説明（全員）

*オリエンテーション・スケジュール説明（全員）

*N T I Dリンドン・バインズ・ジョンソンビル視察（全員）

*R I Tキャンパス視察（全員）

*T C T（筑波技術短期大学）卒業生湯山君（R I T 情報工学1年生）宅訪問（学生）

*歓迎レセプション：N T I D学長主催（全員）

*ロックベンチャー（岩登り）体験（全員）

1998年3月24日

*建築コース授業見学 マッピング、建築設計授業（建築工学科教官・学生）

*電子・情報コース：N T I D応用コンピューター技術視察（電子情報工学科教官・学生）

*コンピュータグラフィック授業見学（学生・教官）

*Academic writing3. 授業見学（教官）

*学生に対するFinancial serviceについての説明（職員）

*英語授業の構成・カリキュラムに関する説明（教官）

*建築コースの先生方とのミーティング（建築工学科教官・学生）

*Non-fiction reading 2. 授業見学（教官）

*Audiologist and Coordinator of Accessibility programsに関する説明（教官）

*電子印刷・出版システム見学（全員）

*学生寮見学（学生）

*American sign language授業見学（学生）

*雇用センターに関する説明（職員）

*T C TとN T I D間のインターネットによる交流（全員）

*フィッシャー先生宅ホームパーティ（教官）

*ショッピング（学生）

*学生寮訪問・交流（学生）

1998年3月25日

*建築コース、C A Dによる設計授業見学（建築工学科教官・学生）

*N T I D Learning centerの視察 スマートルームでの授業の説明（全員）

*学生ヘルスセンターに関する説明（職員）

*Fingerspelling and numbers 授業見学（教官）

*N T I D Imaging art コース見学

(デザイン・建築工学科学生・教官)

- * ワイナリー見学 (ロチェスター郊外) (教官)
- * Business/Computer Science Support Class/Lab 見学 (全員)
- * デカロ先生主催ディナー (全員)
- * パフォーマンス: Michel Thomas を偲ぶ、衣装あわせリハーサル見学 (全員)
- * 学生寮訪問・交流・ゲームその他 (学生)

1998年3月26日

- * ナイヤガラ見学 (全員)

1998年3月27日

- GALLAUDET大学訪問
- * 留学生センター説明 (全員)
- * 英語学校説明 (全員)
- * ギャロデット大学歴史的建物視察 (全員)
- * 学生センター昼食
- * ろう学校幼稚部・小中学部・高等部視察 (全員)
- * 留学生寮視察 (全員)
- * 日本人留学生他との交流、
TCT卒業生早川君 (G大2年: Computer Science)
他の日本人留学生と交流 (全員)

1998年3月28日

- * ワシントン見学 (全員)

1998年3月29日

- * ニューヨーク見学 (全員)

2. ロチェスター工科大学

ロチェスター工科大学の現在にいたる歴史の概要は以下の通りである (文献1)。

1803年ナサニエル・ロチェスター (Nathaniel Rochester: ロチェスター市の開発者) 現在のロチェスター市街地に当たるところの土地を購入、1811年から売り出す。

1825年アーリー運河を開発、ロチェスター交易地としてだんだんと発展

1826年フランクリン大学 (Franklin Institute) 設立

1829年ナサニエル・ロチェスター、学術協会 (The Athenaeum) 設立

1838年ロチェスター学術協会・若者協会 (Rochester Athenaeum and Young Men's Association) Henry O' Reilly 設立

1847年ロチェスター学術協会・機械工学協会 (Rochester Athenaeum and Mechanics Association) William A.Reynolds Corinthian Hall 設立

1891年ロチェスター学術・機械工科大学

(The Rochester Athenaeum and Mechanics Institute) 設立

1944年大学名をロチェスター工科大学 (Rochester Institute of Technology) に変更

1968年メインキャンパスを市街地から現キャンパスへ移転

以上の歴史に見るように、ロチェスター市自体が開発者の名前をとって名づけられた都市であり、ロチェスター工科大学は、その開発の歴史のなかで作られたさまざまな学術組織が、統合して形成されたものである。

1998年U.S.News & WorldReportによる大学ランキングによると、地域総合大学 (Regional Universities) 北部地区 (Northern 地区) 上位校にランクされており (総合点: 93.3、学術面の評価: 2位、学生の質: 10位、教授陣の充実度: 36位、教育予算: 4位、在学生の満足度: 44位、卒業生の満足度: 62位)、この地域の中心大学として、地域に根ざした大学として発展してきたといえよう。

3. 国立ろう工科大学 (NTID) の成立経過

こうした設立過程をとったRITという大学の一部として国立ろう工科大学 (NTID) が設立されたわけであるが、その経過の概要は以下の通りである (文献1)。

アメリカのジョンソン大統領が、Public Law89~36に1965年署名、それをうけて、1965年聴覚障害学生のための単科大学レベルの技術大学設立に関する勧告グループ (National Advisory Group to establish an institute for college-level technical training of deaf students connected with an existing college or university) が設置された。つづいてろう者のための国立技術大学法 (National Technical Institute of the Deaf Act) が作られ、1966年委員会チームによる数度の調査の結果、雇用機会があること、すばらしいろう教育プログラムの提示、ろう問題に対する深い理解、技術教育の蓄積、ロチェスターろう学校 (the Rochester School for the Deaf) の存在などの理由から、RITにNTIDを設立することが選択された。1966年10月、RITにNTIDが併設・設立され、1969年からはじめて70人のろう学生が入学し現在に至っている。

4. ロチェスター工科大学の構成と取得学位

ロチェスター工科大学は8つのカレッジと、その下に多くの学部・履修プログラムが用意されている。この場合のカレッジは単科大学の意味で、取得学位の内容は、履修証明 (Certification)、日本の準学士と考えられるもの (Diploma、AA、AS、AAS、AOS:2~4年)、学士と考えられ

るもの（BS、BFA、B.Tech：4～6年）、修士とかがえられるもの（MBA、ME、MFA、MS、MST）、学術博士などである。大学の種類、学部構成は以下の通りである。（文献2）

応用科学・工学大学

College of Applied Science & Technology

コンピュータ科学・情報工学部

School of Computer Engineering Technology
& Information Technology

工学技術学部 School of Engineering
Technology

食品学部 School of Food

ホテル学部 School of Hotel

旅行管理学部 School of Travel Management

商業大学 College of Business

生涯教育大学 College of Continuing Education

工科大学 College of Engineering

映像芸術・科学大学

College of Imaging Arts and Sciences

アメリカ工芸学部 School For American Craftsmen

芸術・デザイン学部 School of Arts and Designs

写真芸術・科学部 School of Photographic Arts
and Sciences

印刷管理・科学部 School of Printing Management
and Sciences

映像科学センター Center for Imaging Sciences

一般教養大学 College of Liberal Arts

科学大学 College of Sciences

国立ろう工科大学

National Technical Institute for the Deaf

R I Tで取得できる学位、履修年限。大学・学部によって多様な履修方法がある。

* Certificate：Certification 2年間

* Diploma：Diploma 3年間

* AA：Associate in Arts

* AS：Associate in Science

* AAS Degree：Associate in Applied
Science Degree 4年間

* AOS Degree：Associate in Occupational
Studies Degree 3年間、2年間

* BS：Bachelor of Science 5年間、4、6年間

* BFA：Bachelor of Fine Arts 4年間

* B.Tech：Bachelor of Technology 5年間、4年間

* MBA：Master of Business Administration

* ME：Master of Engineering

* MFA：Master of Fine Arts

* MS：Master of Science

* MST：Master of Science for teachers

* PhD：the nation's only doctor program in
imaging science 映像科学学術博士

N T I Dの構成と取得学位は以下の通りである。

（資格と履修年数：略称）

* Certificate：Certification 2年間:Cert

* Diploma：Diploma 3年間:Dip

* AAS Degree：Associate in Applied Science
Degree 3年間:AAS

* AOS Degree：Associate in Occupational
Studies Degree 3年間:AOS

ビジネスキャリア学部 School of Business Careers

応用会計 Applied Accounting :Dip/AAS

商業 Business Occupations :Cert

商業技術 Business Technology :AOS

オフィス技術 Office Technology :Dip/AAS

コンピュータキャリア Computer Careers

応用コンピュータ技術 :Cert/Dip/AAS

Applied Computer Technology

科学・工学キャリア学部

School of Sciences and Engineering Careers

応用科学／健康関連職業

Applied Science/Alieled Health Careers

医学実験技術 Medical Laboratory Technology
:AAS

医療事務技術 Medical Record Technology :AAS

眼科光学みがき技術 Ophthalmic Optical Finishing

Technology :Cert/Dip/Aos/AAS

工学技術キャリア Engineering Technology Careers

職業進路教育・調査1年間体験コース

CareerOrientation and

ExplorationYearExperience

コース 共通必修が多い

建設工学 Construction Technologies

建築製図 Architectural Drafting :Dip

建築工学 Architectural Technology :Dip/AAS

土木工学 Civil Technology :AAS

電子機械工学 Electromechanical Technology
:AAS

工業工学 Industrial Technologies

工業製図 Industrial Drafting :Dip

工業製図工学 Industrial Drafting Technology

	:AAS
生産プロセス工学 Manufacturing Processes	
Technology	:AOS
視覚コミュニケーション学部	
School of Visual Communications	
応用芸術キャリア Applied Art Careers:	Dip
応用芸術・C G	:AAS
Applied Art & Computer Graphics	
写真／メディア工学キャリア	:Dip/AAS
Photo/Media Technology Careers	
注文ラボラトリーサービス	:Dip/AAS
Custom Laboratory Services	
メディア生産オプション	:Dip/AAS
Media Production Option	
印刷生産工学キャリア	
Printing Production Technology Careers	
印刷生産工学	:Cert/Dip/AAS/AOS
Printing Production Technology	
学士前学習	Pre-Baccalaureate Studies
犯罪裁判	Criminal Justice
工学	Engineering
科学	Science
ソーシャルワーク	Social Work

教育通訳 Educational Interpreting:AAS（2年間）

この他に全学共通のプログラムとして、C.O.R.E
Yearexperiance：職業教育プログラムやCoopertive education and Placement: 職業教育プログラム＋学外実習＋学内での実労働プログラムという、充実した教育プログラムを持っている。ろう及び難聴者学生数おおよそ1100名は約11000名の健聴学生と共に学んでいる。

5. R I Tのキャンパス配置・N T I Dの平面図

R I Tのキャンパス配置は図1の通りである。ロチェスターは、ニューヨーク州第3の都市で、大学の敷地は市の郊外地で、広さは1300エーカーである。

またN T I Dの平面図は図2～4の通りである。

6. ギャローデット大学の歴史

ギャローデット大学は以下のような歴史的経過をたどり設立された、聾者の大学である。

- 1857年 コロンビア盲ろう啞大学（Columbia Institute for the Instruction of the Deaf and Dumb and the Blind）設立
- 1864年 国立聾啞大学（the National College for the Deaf and Dumb）設立

- 1865年 視覚障害者はマリーランド大学（Maryland Institution）に移転
- 国立聾啞大学（The National Deafmute College）設立
- 1885年 小学部（The Primary Department）が大学キャンパスに移転：Kendall School
- 1894年 ギャローデット大学（Gallaudet College）
- 1969年 モデルろう中学校（The Model Secondary School for theDeaf）開設
- 1970年 ケンダル学校（Kendall School）がケンダルデモンストレーション小学校（The Kendall Demonstration Elementary School）に認定される。
- 1986年 ギャローデット総合大学（Gallaudet university）となる。

7. ギャローデット大学の概要（文献3）

「ギャローデット大学ー卓越した伝統一」という大学のパンフレットによって、大学の概要を紹介する。

*ギャローデットの概要

ギャローデット大学は広領域の学問と研究、公共サービスの提供を通して、ろう者と難聴者を対象とした私立の多目的な教育施設とリソースセンターを持った大学である。ギャローデット大学は、1984年アブラハムリンカーン大統領によって学位の授与が認められ、議会は1986年ギャローデットをユニバーシティ（総合大学）として認可した。1988年大学理事会はギャローデット大学の最初のろう者の学長としてI. キングジョーダン博士を指名した。

今日、2000人以上のろうおよび難聴者の学生が学位のためのプログラムに登録している。ギャローデットのキャンパスは、文化的にも歴史的にも豊かな教育環境を有している首都ワシントンDCに位置している。ワシントン北東のケンダルグリーン99エーカーのキャンパスは長い歴史とろう者の豊かな文化を有している。

大学は人間の知性の発達に必要な芸術と科学の教育の提供を確約している。またろう者と難聴者個々人の人生を高める目的をもった研究を行い、ろう者と難聴者、その家族、友人たち、彼らと共に働く専門家たちを支援することを確約している。

*教育

ギャローデット大学は多様な独特な学習機会を通して質の高い教育を提供している。ギャローデット大学はろう者及び難聴者学生に限って計画された世界でも唯一の教養大学として広く知られている。教官、職員そして教室の内外をとわず学生間のコミュニケーションは、手話

及び読み書きの英語を両方とも使用している。学生は学内生活のあらゆることにフルに参加でき、その結果として教養教育の目標である幅の広い総合的な教育と体験をすることができる。近年ギャローデット大学には231人の教授がおり、その59%の人は最高学位を有し、39%の人は聴覚に障害を持つ人である。

*教育課程

大学には50以上の学部と大学院の教育課程がある。そして以下の学校で、BA、BS、SMA、MS、MSW、EdS、そしてPhDの学位を獲得できる。

大学・学部構成は以下の通り。

芸術・科学大学 College of Arts and Sciences

コミュニケーション学部 School of Communication

教育・人文科学部

School of Education and Human Services

経営学部 School of Management

学部学習部 School of Undergraduate Studies

大学院 The Graduate School

生涯教育大学 College for Continuing Education

ギャローデット大学の大学院は、健聴者・聴覚障害者共に入学できる。

*学生数

1996年秋 1344：学部学生、
575：大学院学生
114：手話専門学習
2033：総数

*大学前教育（国の委任プログラム）

モデルろうセカンダリー学校（高等学校）
生徒数300人全米対象
ケンダルデモンストレーション小中学校
生徒数200人

ワシントンDCメトロポリタン地域対象

*英語学校（ELL）

留学ろう学生のための第2言語としての英語学校

*交換・訪問学生

オハイオ州オーバーリンカレッジ、西マリーランドカレッジとの交換・訪問学習による単位認定、ドイツとの教職員・学生の交換留学制度

他大学からの2セメスターまでの学生の受け入れ

*優等生プログラム

学問的に能力のある学部学生に対する、潜在能力を最大限に理解させる厳しく激励的で挑戦的なカリキュラムをもつ教育プログラム

*外国研究

大学の教官は世界各国の歴史、政府、芸術、言語、文化を調査しているグループを指導している。学生はこう

した国々のろう学生と交流すると大学の単位を獲得できる。

*大学連合

ワシントン首都圏エリア大学連合への参加：10総合大学、2単科大学

*大学教育アドバイス&職業センター

*アメリカ手話技能センター

*経済的支援

*学生生活／諸活動

アジア太平洋協会、黒人デフ学生ユニオン、ギャローデットダンスコミュニティ、ギリシャ協会、ギャローデットヒスパニック協会、国際学生クラブ、決して遅くないクラブ（Never-too-late Club）、コンサート、劇場活動、字幕フィルム、音楽パフォーマンス、その他の文化的・教育的イベント

*授業料と報酬 秋／春1996-1997

授業料（アメリカ人学生） \$ 5610

寄宿舎部屋代（2人部屋） \$ 3575

食事（21ミールプラン） \$ 2695

ユニット／健康管理費 \$ 800

総計 \$ 12680

*大学図書館

世界中のろう関係コレクション、ワシントン地区大学図書館ネットワーク（400万冊以上の蔵書目録）

*同窓会

*生涯教育大学

生涯教育クラス、延長大学院コース、ワークショップ専門教育セミナー、会議、電話相談、消費者教育、上級生寄宿舎プログラム、雇用への挑戦プログラム、ビジネス文書などのプログラムの提供

*地方センター

全米5州の単科大学、コミュニティカレッジとの連携のための地方センター

*ケロッグ相談センター

大小の会議室、理事会室、ゲスト宿泊室、電話相談等

*ろう国際センター

交換留学、国際研修プログラム、訓練セミナー、学会共同研究など

*ギャローデット研究所

ろう関係研究に関する国際的に認められた研究所、ろう教育における教育・コミュニケーション実践、子供の発達実践、遺伝学、ろう消費者の利益となる技術などの研究

*国立ろう情報センター

全米及び全世界の聴覚障害者およびそのあらゆる関係者に対する情報提供

*印刷&教材

Gallaudet today、Previewの発行、書籍の発刊、視聴覚教材の作成、その他ギフト用品、Perspective（教師向けジャーナル）、World Around You（学生向け雑誌）の発行

*手話プログラム

全米の人々に対する手話教育、サマーコースの開設は生まれつきの手話使用者に強い相互の関係を提供するアメリカ手話を勉強する機会を提供している。

*技術支援

学生・教職員に対するコンピューターなどの新しい機器使用の支援

*来訪者センター

年間1000人以上の来訪者

マルチメディアを使っろうについての展示

8. ギャローデット大学のキャンパス配置（文献4）

ギャローデット大学のキャンパス配置は図5の通りである。

9. おわりに

以上、ここでは、RIT、NTID、Gallaudet大学の概要を示したが、アメリカの聴覚障害者に対する高等教育の現状を見るときわめて参考となるシステムとなっていることを感じる。

第1に障害者に対する高等教育に対する充実した設備・人員配置である。授業に対する手話通訳者の派遣その他の情報保障のみならず、ラーニングセンターなどの勉学保障の充実度はきわめてレベルが高いものがある。

第2には学生個々人の適性・可能性を伸ばすための選択性の高い・充実した大学・学部・コースのカリキュラムの多様な在り方である。NTIDにおける聴覚障害者

を対象としたコース・カリキュラムの設定のみならず、RITでの授業への参加、更にはRITへの進学保障と極めて柔軟なシステムをとっている。また工科系大学とはいえ、アート、経営学、商業その他の幅広いコースを設定しており、学生の適性に応じた選択ができるようになっている。

第3には、希望すれば基本的に入れるというユニバーサルな大学となっており、授業も極めてわかりやすいものにあらゆる工夫がなされていること、また学習支援システムが充実していること（ラーニングセンター、学習相談センターなど）、実学的な教育が重視されていることなど、学生の可能性を伸ばすシステムとなっていることである。しかし単位取得などは比較的厳しく、卒業も簡単ではなく、障害を持つというハンデキャップに対しては、そのハンディキャップをおぎなう仕組みはつくり教育の機会平等は保障するが、スタートラインにたてば厳しい競争があるというシステムとなっている。

こうしたアメリカの教育システムは今後のわが国の聴覚障害者の高等教育の在り方に極めて大きな示唆を示していると考えられる。

参考文献

1. DANER, GORDON: ROCHESTER INSTITUTE OF TECHNOLOGY Industrial Development and Educational Innovation in an American City
1982 THE EDWIN MELLE PRESS
2. RIT General Information & Undergraduate Program 1992-93
3. GALLAUDET UNIVERSITY A TRADITION OF EXCELLENCE
4. GALLAUDET UNIVERSITY Self-Guided Campus Tour

Summary: This is a report on the 7th study tour to the university & Colleges for the deaf and hard hearing students in USA promoted by Tsukuba College of Technology, and mainly this report refers to the outline, Colleges & Schools, Campus planning, degrees of the Rochester Institute of Technology and National Technical Institute for the Deaf, Gallaudet University in USA.

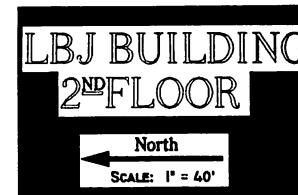
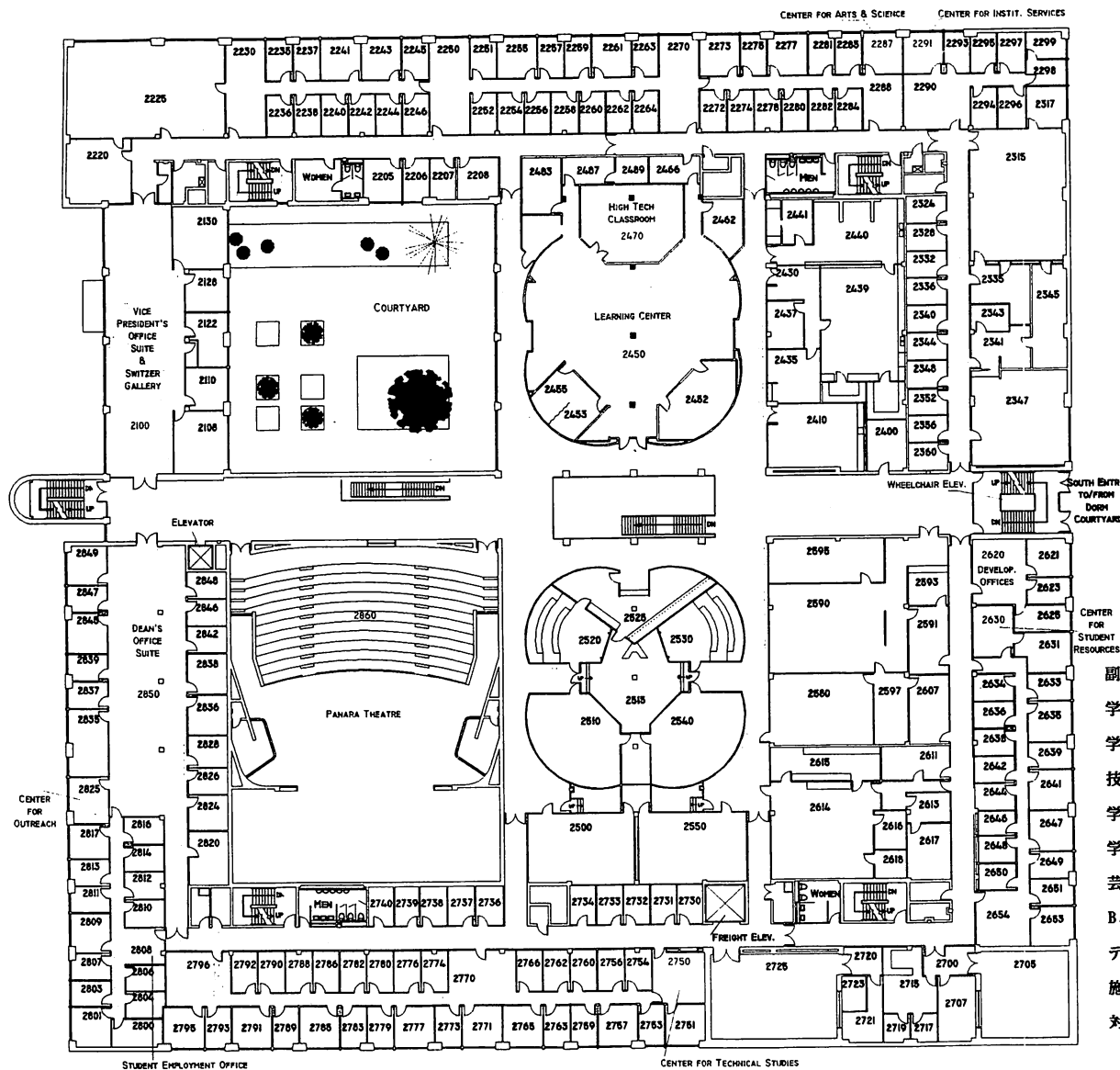


図3 N T I D (国立ろう工科大学)
建物平面図 (2階)

副学長室 (Vice President's Suite)	2100室
学部長室 (Dean's Office Suite)	2850室
学習センター (Learning Center)	2450室
技術学習センター (Center For Technical Studies)	2750室
学生雇用オフィス (Student Employment Office)	2808室
学生記録センター (Center For Student Records)	2630室
芸術・科学センター (Center For Arts & Sciences)	2288室
Bach. & Grad 学習センター (Ctr. For Bach. & Grad. Studies)	キャリアビル
ディベロップメントオフィス (Development Office)	2620室
施設管理サービスセンター (Center For Inst. Services)	2290室
対外センター (Center For Outreach)	2850室

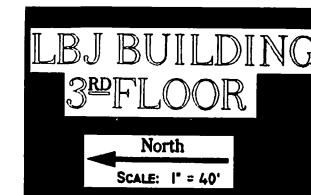
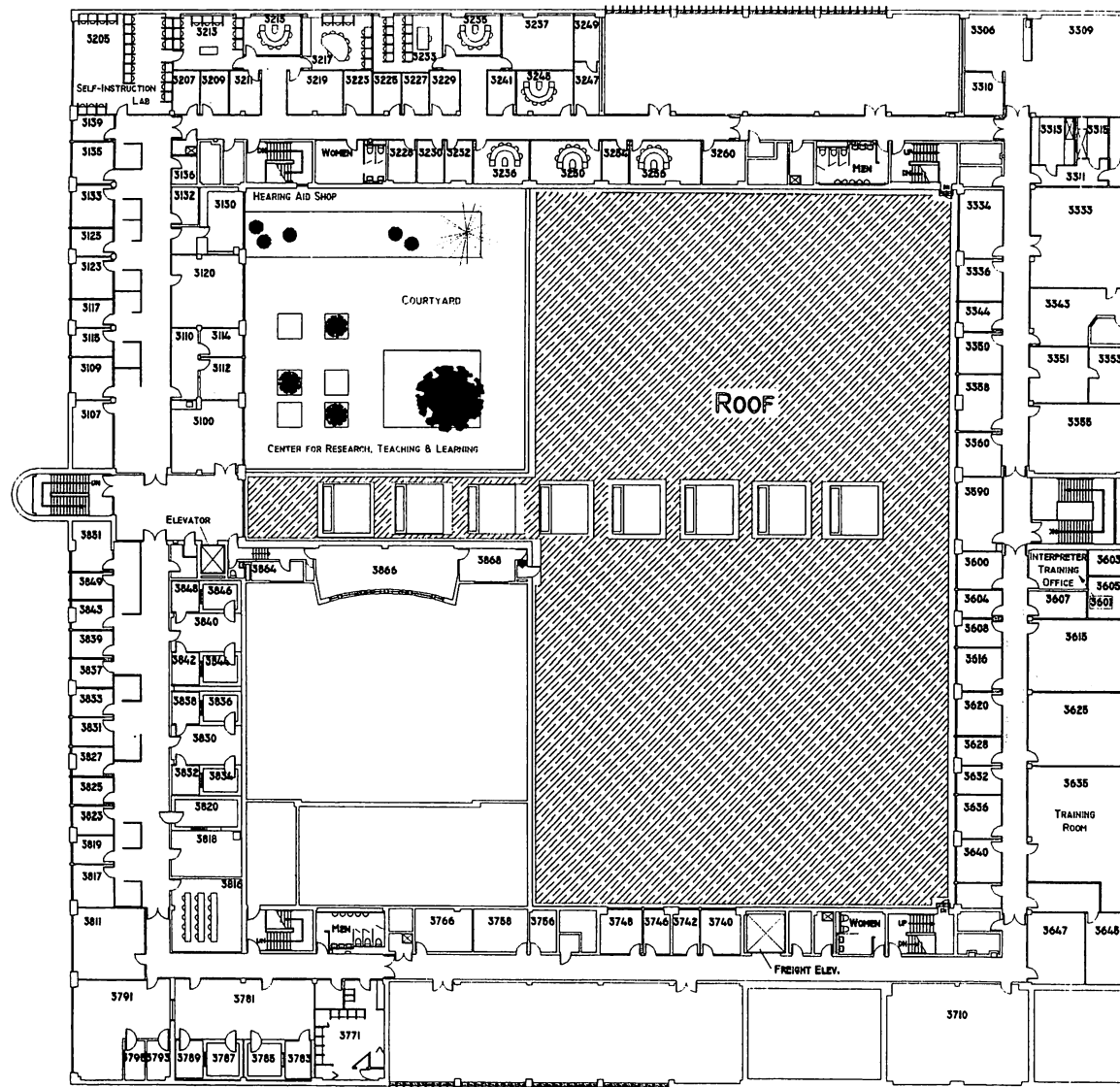
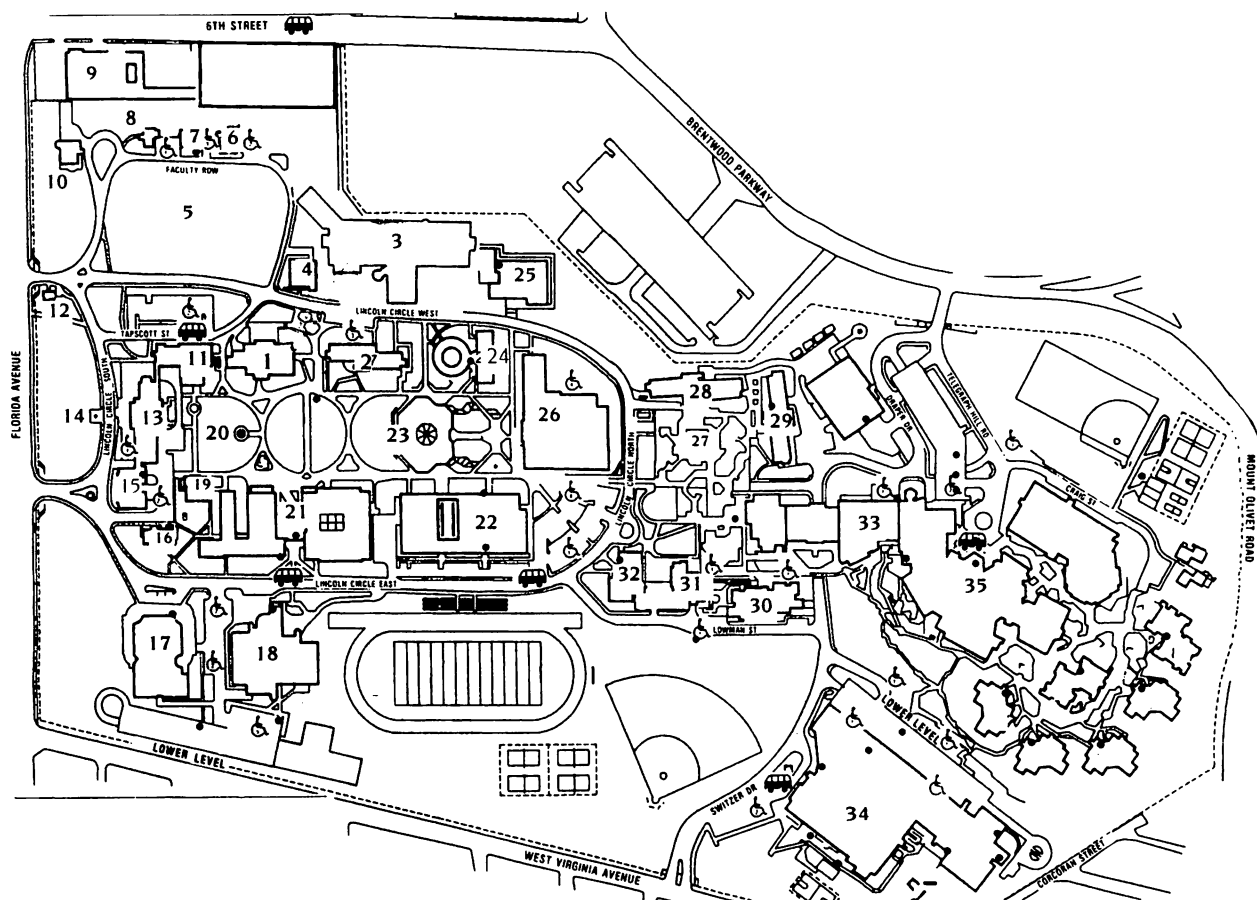


図4 NTID (国立ろう工科大学)
建物平面図 (3階)

聴覚補償機器オフィス (Hearing Aid Shop)	3130室
通訳トレーニングオフィス (Interpreter Training Office)	3601室
自習室 (Self-instruction Lab)	3205室
トレーニング室 (Training Room)	3635室
教授・学習リサーチセンター (Center For Research/Tch'g/Lrn'g)	3110室
北東地域技術・支援センター (N. E. Regional Tech. Assist. Ctr)	ピーターソンホール

図5 GALLAUDET (ギャローデット) 大学キャンパス配置図



- | | |
|---|---|
| <p>1 エドワート・マイナー・ギャローデット記念館 (1956)
大学来訪者センター、展示室、開発&コンピュータサービス学科副学長室</p> <p>2 ヒートホール (1957)
学生寮</p> <p>3 キャローデット大学クロック会議場 (1995)
700人以上収容のダンス場、275席の講堂、13会議室、87ゲスト宿泊室
生涯教育レジ、大学及び地域相談センター、精神保健センター</p> <p>4 ベイコフ同窓会ハウス (1881)</p> <p>5 オルムステット芝生広場</p> <p>6 テンソンハウス (1875)
大学スタッフ事務所</p> <p>7 フェイハウス (1875)
キャローデット通訳サービス事務所</p> <p>8 バラートハウス (1867)</p> | <p>入学・求職事務所本部</p> <p>9 アップルハイルディング交通部門、印刷ショップ</p> <p>10 エドワート・マイナー・ギャローデット住居 (1867) 元エドワート・マイナー・ギャローデット住居、国の歴史的建造物、キング・ジョージ・ワシントン現学長住居</p> <p>11 カレッジホール (1877)
大学人事課、学長事務所、経営及び商業副学長室</p> <p>12 ケートハウス (1878)
職員住居、事務所</p> <p>13 チャペルホール (1870)
宗派を特定しない大学教会、会議場、会議室、展示室、国の歴史的建造物、歴代学長他重要人物の写真を展示</p> <p>14 トマスホフ・キング・ギャローデット像 (作者: ダニエル・チェスター・フレッチャー・リソカン 記念堂のリソカン像作者)
1814年トマスホフ・キング・ギャローデットが彼の最初の若きろうの隣人であつ最初のろうの生徒であるアリスコ・スウェルに、</p> |
|---|---|

- 手話のAという文字を教えている像。キヤローテットは1817年、アメリカ最初のろう学校をコネチカット州ウェストハートフォードに設立。1857年キヤローテットはアモスケナールが設立したキヤローテット大学の前身、コロンビアろう・言語障害・視覚障害学校に学校長として招聘された。
- 15 ファーラーホール (1918)
教育及びヒューマンサービス 学校本部。ソフィアファーラーキヤローテットはろう者で、トマスホフキンキヤローテットの妻で、初代学長エトワートマイナーキヤローテットの母である。
- 16 タウエスハウス (1896)
A S L、言語学、通訳学部及びコミュニケーション 学校の学部長事務所
- 17 エルスタット劇場 (1963)
750席の劇場、劇場芸術学部事務所及び教室
- 18 フィールドハウス (1982)
3000席の体育館 (バスケットボール、バレーボール、卒業式)、6 ラケットボールコート、ウェイトトレーニングルーム、ロッカールーム教室、アスレチックス 学部、体育レクリエーション 学部事務所
- 19 ケンタールホール (1885) 大学職員事務所
- 20 エトワートマイナーキヤローテット像 (作者ピエトロラッサーリ) (1969)
大学初代学長エトワートマイナーキヤローテット彫刻像
- 21 イリーセンター (1959)
北ウイング: 学生センター、スナックバー、アベイブ、郵便局、書籍店、地方銀行支店、レクリエーションセンター (6 レンボホールリンク場、ホールマシン、ビデオゲーム、玉突きプールテーブル、卓球)
南ウイング: 通学学生ラウンジ、経営大学学校、学生登録事務所、金融支援、学内生活事務所
- 22 ヒューシエスシムナシウム (1956)
室内プール、ダンススタジオ、教室
- 23 メリル学習センター (1981)
キヤローテット図書館 (蔵書20万冊、1400種以上の定期刊行物の購読、100以上のデータベースから教職員・学生へのサービス可能)、テレビコレクション、テレビジョン 学科、写真学科、教育工学科 フル装備のテレビスタジオ
- 24 マリーソンハリービルディング (1964)
全教職員・学生に対する大学の聴覚管理&言語治療所
- 25 ウォッシュバーン芸術ビルディング (1960)
芸術、家族、消費者学科、学生の芸術作品の展示
- 26 ホール記念ビルディング (1959/1992)
1 階: 障害学生事務所、学術アトマス/職業センター、会計事務所、チューターセンター、学術技術、アンタークラッシュエイト 学校部長事務所、聴覚障害留学生のための英語学校
2 階: 歴史、行政、外国語、文学学科本部、教員・管理者事務所 3 階: 科学学科、実験室、心理学科、ソーシャルワーク、社会学、宗教学、哲学各学科 4 階: 学術部門副学長事務所、学部&研究所部長室、研究スタッフ、科学教官室、科学実験室、教室
- 27 カフェテリア、アカサハンスプロラサ食堂
- 28 クラックホール (1966)
学内の共同大学寄宿舍
- 29 コクウエルホール (1966)
大学寄宿舍
- 30 カーリンホール (1979)
大学寄宿舍
- 31 クラークホール (1971)
大学寄宿舍
- 32 ハンソンホール
大学寄宿舍
- 33 ピーターJ.健康センター
健康センター
- 34 ケンタールデモンストレーションエレメンタリースクール
乳幼児期から15歳までの小中学校、キヤローテットこども発達センター:キヤローテットに働く人、学生、周辺住民の健聴・ろうのこども教育センター
- 35 聴覚障害者のためのモデルセカンダリースクール
聴覚障害者のための全国を対象としたモデル 高等学校 広大な体育館、プール、教員宿舎、学生寄宿舍、キヤローテット大学出版局、大学ケーブルテレビジョン
国立ろう情報センター (NICD)、印刷・製造部門